

科目名	交通工学	科目コード 51630
-----	------	----------------

学科名・学年	環境都市工学科 5 学年 (プログラム 2 学年)	担当教官	宮腰 和弘 (環境)		
単位数	1 単位・選択	開講期間	前期	時間数	30 時間
				内訳 <small>(時間)</small>	講義(28), 演習(0) 実験(0), その他(2)
教科書	交通工学 (コロナ社)				
補助教材	プリント				
参考書	都市交通計画第二版 (技報堂)				

A 科目の概要	
道路の交通を中心にハードウェアだけでなく利用面から見た道路についての理解を深め、社会的役割と実態を把握し、交通工学的な考え方もふまえ、その他の交通機関との関連、都市交通について考える。	
B 到達目標	
1. 道路と交通の概要を理解する。 2. 交通計画と四段階推定の概要を理解する。 3. パーソントリップ等の調査をとおして交通を理解する。	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(D)
D 履修上の注意	
自分が毎日利用している道路や交通機関に対して注意を払って観察する。	
E 評価方法	
1. 道路と交通の概要を理解したことを筆記試験(10%)レポート(10%)によって確認し評価する。 2. 交通計画と四段階推定の概要を理解したことを筆記試験(40%)によって確認し評価する。 3. パーソントリップ等の調査をとおして交通を理解したことを筆記試験(35%)によって確認し評価する。 定期試験【85%】(前期中間(0), 前期末(85), 後期中間(0), 後期末(0))、 その他の試験【0%】、レポート【10%】、その他【5%】(授業に取り組む態度) の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60 点以上を合格点とする。	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	道路と社会、道路の歴史	
2	道路の分類、道路に関連した法律	
3	道路管理	
4	交通の概要	
5	交通計画	
6	〃	
7	都市交通	
8	パーソントリップ調査	
9	〃	
10	四段階推定法	
11	〃	
12	〃	
13	交通流特性、交通流の表現、交通容量	
14	試験	
15	試験の解説	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		